

Research Models Catalog



国内生産実験動物

Leading the search for tomorrow's cures

研究を未来の治療に導く

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンは、世界最大の多様なラインナップかつ高品質の研究モデルを用意しており、加齢マウスや NSG® マウス、ヒト化マウス、C57BL/6 や BALB/c およびその他たくさんの重要な系統など、13,000 系統の精細な研究 / 疾患モデルを取り揃え、お客様の重要な研究を支援し続けることを最優先事項として事業を継続してまいります。



Research Models

リサーチモデル事業

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンは
遺伝学的・微生物学的に統御された高品質な
実験動物を安定的に供給しています

- 国内生産実験動物(マウス / ラット)
- 手術・処置動物(マウス / ラット)
- 生体試料採取(血液・臓器等)、ブタ皮膚(Yucatan Micro Pig Skin set)

その他以下の事業も提供しています

- 輸入実験動物(マウス / ラット等)
- 微生物モニタリングサービス
- 遺伝子改変動物の作製・受託繁殖サービス
- 国内受託試験サービス(探索・薬効薬理等)

Contact JAX in Japan

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社

The Jackson Laboratory Japan, Inc.

- 一般のお問い合わせ ask@jax.or.jp
- ホームページ www.jax.or.jp
- AnyTime(国内生産実験動物／生体採取)専用サイト anytime.jax.or.jp

カスタマーサポートセンター (受注窓口)

TEL : 045-474-9350
FAX : 045-474-9351
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-6
イノテックビル 11 階

営業部(東日本)

TEL : 045-474-9340
FAX : 045-474-9341
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-6
イノテックビル 11 階

営業部(西日本)

TEL : 072-686-6651
FAX : 072-686-6652
〒569-0803
大阪府高槻市高槻町 5-25
北本ビル 1 階 C 号室

ご発注にあたって

- P.05 国内生産実験動物 発注方法
特別規格、追加料金
動物お受け取り時の取扱についてのお願い

遺伝学的／微生物学的統御について

- P.06 遺伝学的統御(遺伝管理システム)
P.07 微生物学的統御(微生物モニタリング)
マウス・ラット名称について

国内生産実験動物

Outbredラット

- P.08 CrI:CD(SD) 【CD(SD)】
CrIj:WI 【Wistar】

Inbred(近交系)ラット

- P.09 BN/CrIjCrIj 【BN】
F344/DuCrIjCrIj 【F344】
LEW/CrIjCrIj 【LEW】

Disease Models(病態モデル)ラット

- P.10 WKY/NCrIjCrIj 【WKY】
PCK/CrIjCrIj-*Pkhd1*^{pck}/CrIjCrIj 【PCK】

Outbred マウス

- P.11 CrI: CD1(ICR) 【ICR】

Inbred(近交系)マウス

- P.11 B6N-*Tyr*^{c-Brd}/BrdCrCrI 【B6 Albino】
BALB/cAnNCrIjCrIj 【BALB/c】
P.12 C3H/HeNCrI 【C3H】
C57BL/6NCrI 【B6N】
C57BL/6J 【B6J】
P.13 CBA/J 【CBA】
DBA/1JNCrIj 【DBA/1】
DBA/2NCrI 【DBA/2】
P.14 NC/NgaTndCrIj 【NC】
SJL/J 【SJL】



Preconditioning Models マウス

- P.15 C57BL/6J-Aged 【B6J Aged】
C57BL/6J-DIO 【B6J DIO】
C57BL/6J-NASH 【B6J NASH】

F1 Hybrid マウス

- P.16 B6D2F1/CrI 【B6D2F1】
CD2F1/CrIj 【CD2F1】
B6C3F1/CrI 【B6C3F1】

Disease Models(病態モデル)マウス

- P.17 B6.Cg-*Lep*^{ob}/J 【ob】
BKS.Cg-*Dock7*^m+/+ *Lepr*^{db}/J 【db】

Immunodeficient Models(免疫不全モデル)マウス

- P.18 CAnN.Cg-*Foxn1*^{nu}/CrIjCrIj 【BALB/c-nu】
CrIj:CD1-*Foxn1*^{nu} 【ICR-nu】
CB17/Icr-*Prkdc*^{scid}/CrIjCrIj 【C.B-17 SCID】
P.19 CrIj:SHO-*Prkdc*^{scid}*Hr*^{hr} 【SHO】
CB17.Cg-*Prkdc*^{scid}*Lyst*^{bg-J}/CrIjCrIj 【SCID Beige】
NOD.CB17-*Prkdc*^{scid}/J 【NOD SCID】
P.20 NOD.Cg-*Prkdc*^{scid}*Il2rg*^{tm1Wjl}/SzJ 【NSG】
Immunodeficient Models(免疫不全モデル)
マウス一覧

その他商材

- P.21 手術・処置動物
P.22 生体試料採取(血液・臓器等)
ブタ皮膚(Yucatan Micro Pig Skin set)

使用条件等

- P.23 系統別出荷体重基準表
P.26 製品／サービスのご利用にあたって
販売代理店

ご発注にあたって

国内生産実験動物 発注方法

① ご所属 ② ご発注者のお名前とご連絡先（TEL/FAX） ③ 動物の系統名 ④ 性別（♂♀） ⑤ 週齢 ⑥ 匹数 ⑦ ご希望の納期 ⑧ その他ご指定事項（納品先等）を明確にご連絡いただきたくお願いいたします。

特別規格、追加料金

退役動物 (リタイア)	繁殖に利用した動物で月齢不詳のものです。ファイティング等により傷がある場合がございます。 〔RETIRE〕
月齢指定退役動物 (月齢指定)	退役動物で、納品時の月齢を指定したものです。系統や性別により退役月齢が異なります。 ご希望の納品時月齢により、退役月齢からの飼育料を加算させていただきます。〔RETIRE, S〕
妊娠動物	交配日は確認されておらず、目視の腹部膨張により妊娠を確認した動物です。〔PREG〕
交配日指定妊娠動物	同居翌日以降にプラグ（膣栓）を確認した動物です。プラグ確認日を妊娠 0 日としております。 プラグ確認 14 日未満の動物は外観からの妊娠判断が難しく、不妊の可能性がございますので、試験使用匹数に余裕を持ってご発注いただくか、妊娠 14 日目以降の動物のご購入をお勧めいたします。〔T, PREG〕
哺育動物	出荷時 20 日齢未満の哺育動物です。哺育用親と共に出荷します。系統により、1 腹当たりの匹数が異なります。14 日齢未満の動物は配送時の食殺のリスクが高まります。〔LACT〕
日齢指定	日齢をご指定（出生日が 1 ～ 6 日幅）の場合、以下の金額を加算いたします。対応可能系統はお問い合わせください。 ● マウス：週齢動物価格 + 200 円 (9 週齢以上は + 400 円) ● ラット：週齢動物価格 + 400 円 (9 週齢以上は + 800 円)
少数注文の 輸送箱費用	少数のご注文に該当する場合、「箱代」として別途 1,000 円 (消費税別) を申し受けます。 ● マウス：全週齢 9 匹以下 ● ラット：3 ～ 15 週齢 3 匹以下 適用除外規格：妊娠動物等の特殊動物、db、ob、NOD SCID、NSG、B6J DIO、B6J NASH
追加配送費	配送地域によっては、商品価格以外に別途配送費を申し受ける場合がございますのでご了承ください。
航空便輸送費用	航空便で輸送する場合、航空輸送費として以下を申し受けます。 ● マウス：1,200 円 / 箱 (消費税別) ● ラット：2,000 円 / 箱 (消費税別)
特殊動物 (RETIRE、PREG、LACTなど)	個体識別用に耳パンチされた動物が含まれる可能性がございますのでご了承ください。

動物お受け取り時の取扱についてのお願い

動物へのストレス軽減と温度環境のコントロールに努めてお届けしておりますが、動物の健康維持のためにできる限り速やかに空調室内のケージに収容の上、給水ならびに給餌をお願いいたします。

遺伝学的／微生物学的統御について

Genetic Management

遺伝学的統御（遺伝管理システム）

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンは、世界中で遺伝的乖離を最小限に抑えた動物を供給するために2つの特別な遺伝管理システムを導入しています。

各システムの詳細は、ホームページをご参照になるか、弊社窓口（ask@jax.or.jp）までお問い合わせください。

Genetic Stability Program (GSP)

ジャクソン研究所（米国）で保管され、定期的に復元される基礎コロニー（Foundation stocks）から定期的に親だねの供給を受けることで、ジャクソン研究所（米国）のコロニーとの遺伝的乖離を最小限に抑えています。



※ GSP 適用系統は、各系統の紹介ページにその旨が表記されています。
※ なお、全てのJAXマウスはGSP適用外の系統も含めて定期的にジャクソン研究所（米国）より親だねの供給を受けております。



The Jackson Laboratory Genetic Stability Program is covered under U.S. Patent numbers 7592501 and 8110721; a license from JAX is required to practice under this patent.

International Genetic Standardization Program (IGS プログラム)

Outbred では、Charles River Laboratories, Inc.（米国）の Foundation コロニーから各コロニーへの親だねの供給（Forward migration）と、各コロニーから Foundation コロニーへの里帰り（Backward migration）を行うことで、遺伝的にひとつの大きな Outbred コロニーとしています。



Inbred（近交系）では、定期的に Foundation コロニーから各コロニーへの親だねを供給することで、Foundation コロニーを頂点としたピラミッド型の Inbred コロニーを構築しています。

※ IGS Program 適用系統は、各系統の紹介ページにその旨が表記されています。

Health Profile

微生物学的統御（微生物モニタリング）

Charles River Laboratories, Inc.（米国）から検査手法 / 技術 / 設備を移管した
ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンのモニタリングセンターで、供給する動物の微生物モニタリングを行っています。
国内生産実験動物は全て SPF/VAF（Specific Pathogen Free / Virus Antibody Free）です。
モニタリングレポートは、ホームページをご参照になるか、弊社窓口（ask@jax.or.jp）までお問合せください。

※ モニタリングレポートを毎月 メールでお届けすることもできます。

マウス・ラット名称について

Outbred Mice and Rats

アウトブレッドマウス / ラット

アウトブレッドは、個体レベルの多様性を維持してヘテロ性を最大化することを
目的として維持しています。

例

Crl : CD(SD)

↑
生産している
研究室(所)コード
ラボコード

↑
系統名

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンが生産する Charles River グループの IGS プログラム適用系統は、定期的に Charles River laboratories, Inc.（米国）より親だねの供給を受けており、Charles River グループの動物と遺伝的に乖離していないことから、ラボコードに“Crl”を用います。

ラボコード

■ **Crl** — Charles River グループ

■ **Crlj** — 旧日本チャールス・リバー（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）

Inbred Mice and Rats

インブレッド（近交系）マウス / ラット

インブレッド（近交系）マウスは、追跡できる単一のペア動物を由来としており、
20 世代以上の兄妹交配によって作られます。

例

C57BL/6J

↑
系統名

↑
生産している
研究室(所)コード
ラボコード

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンが生産する GSP 適用系統を含む JAX®Mice は、定期的にジャクソン研究所（米国）より親だねの供給を受けており、米国内で生産されている JAX®Mice と遺伝的に乖離をしていないことから、ラボコードに“J”を用います。

国内生産実験動物

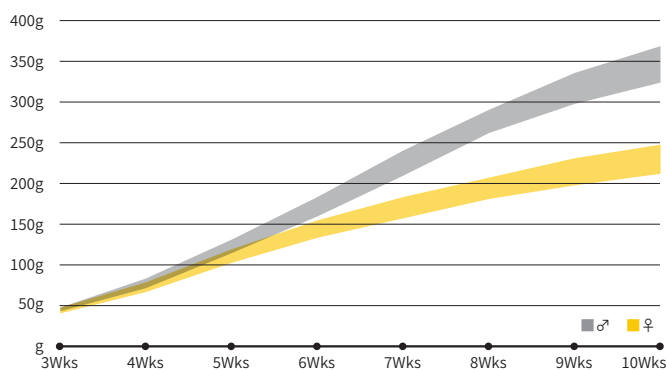
Outbred ラット

Crl:CD(SD)

IGS 適用系統 | CD:Caesarean Derived



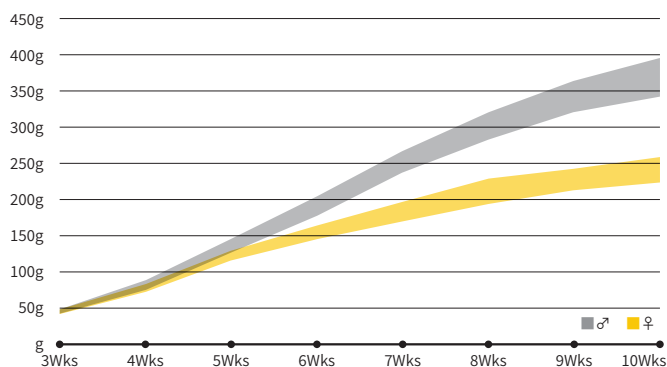
一般名：CD(SD)



毛色	Albino
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T, PREG、LACT
由来	1950 年に Sprague Dawley Inc. から Charles River Laboratories, Inc. (米国) に導入され、1991 年に世界各国のチャールス・リバー生産施設の従来 CD (SD) コロニーから選抜された親だねを基に、IGS Foundation コロニーが設立された。1994 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。1997 年に Foundation コロニーがアイソレータ内に移された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。

Crlj:WI

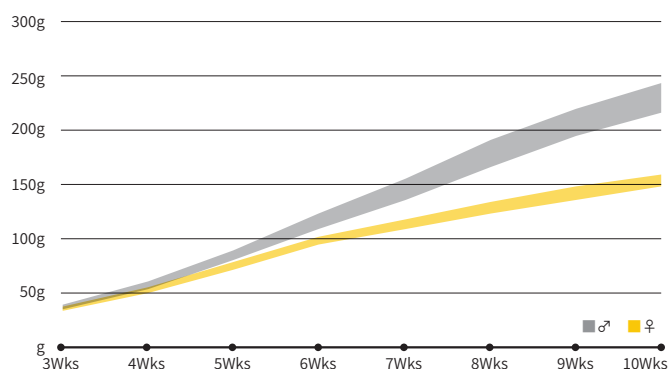
一般名：Wistar



毛色	Albino
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T, PREG、LACT
由来	1947 年に Wistar Institute より Scientific Products Farm, Ltd (Charles River Laboratories, Inc. (米国) の前身) へ導入され、1975 年に Charles River Laboratories, Inc. (米国) に移された。1981 年にノトバイオート親だね群が日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。

BN/CrlCrlj

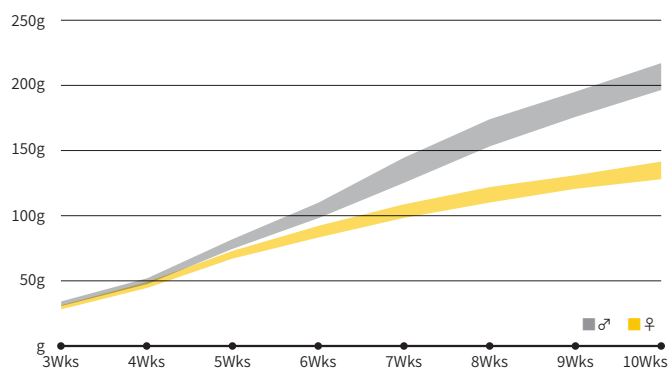
一般名：BN



毛色	Non-agouti brown	RT1	n
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T, PREG、LACT		
由来	1976 年に Radiobiology Institute (オランダ) より Charles River Laboratories, Inc. (米国) へ導入され、1990 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。		

F344/DuCrlCrlj

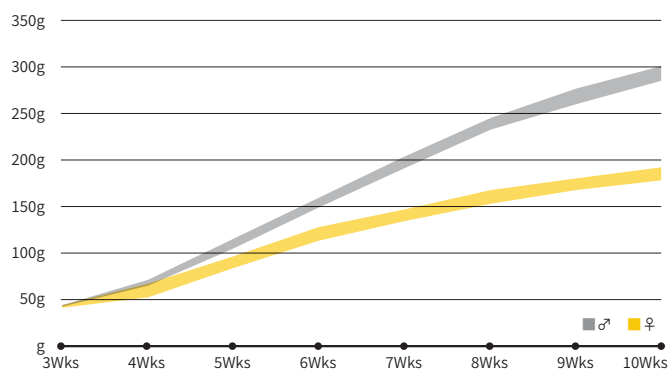
一般名：F344



毛色	Albino	RT1	ℓ
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T, PREG、LACT		
由来	1920 年 Curtis より Dunning へ導入し、1960 年に F68 で Charles River Laboratories, Inc. (米国) へ導入され、1965 年に F81 で SPF 化を行い、1976 年 F110 で日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。		

LEW/CrlCrlj

一般名：LEW

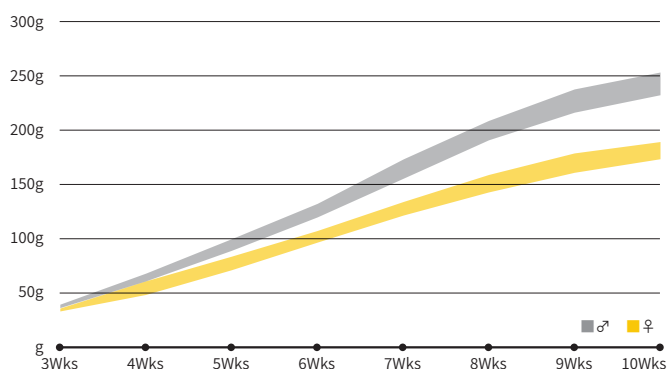


毛色	Albino	RT1	ℓ
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T, PREG、LACT		
由来	1950 年代初期に Dr. Lewis により開発された。1970 年に F34 で Tulane University より Charles River Laboratories, Inc. (米国) へ導入され、SPF 化後、1981 年に F49 で日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。		

Disease Models (病態モデル) ラット

WKY/NCrlCrlj

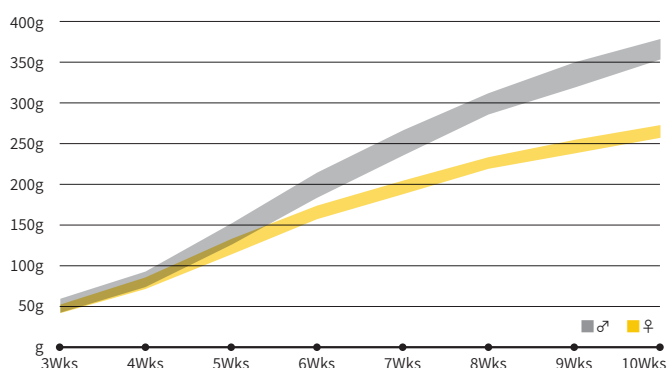
一般名：WKY



毛色	Albino	RT1	ℓ
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T, PREG、LACT		
由来	京都大学で維持されていた Outbred Wistar に由来。1971 年 NIH にて兄妹交配を開始し、1974 年に F11 で Charles River Laboratories, Inc. (米国) で SPF 化後、1981 年に F25 で日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。		

PCK/CrljCrlj-*Pkhd1*^{pck}/CrlCrlj

一般名：PCK

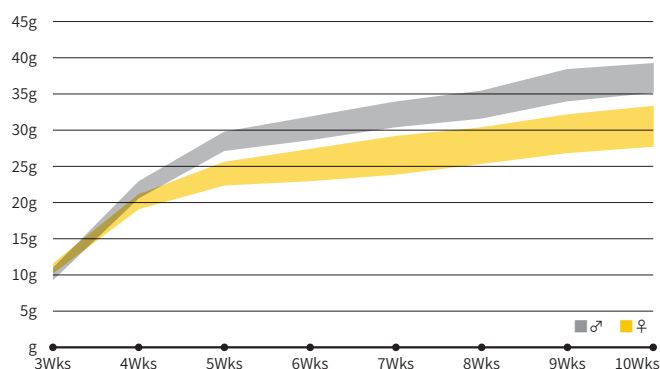


毛色	Albino
規格	4 週齢～
由来	腎と肝に多発性嚢胞腎症を示すこのラットは、日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）の CD ラット生産コロニーから発見された。その後 2000 年に藤田医科大学にて <i>Pkhd1</i> 遺伝子突然変異が同定された。この常染色体劣性遺伝子は、ヒトの常染色体劣性多発性嚢胞腎症（ARPKD）に関連する。2006 年に Charles River Laboratories, Inc. (米国) に導入され、2013 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ再度導入された。

Outbred マウス

Crl:CD1(ICR)

一般名：ICR



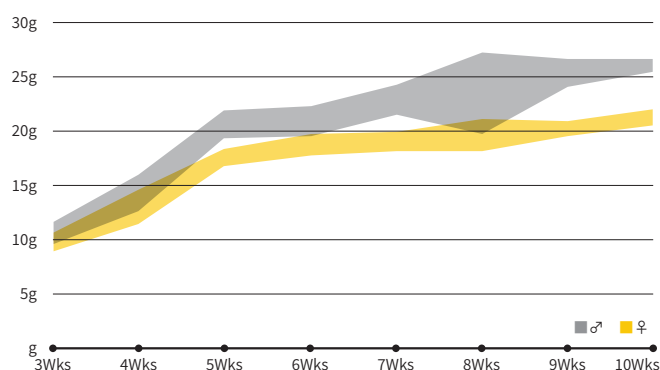
毛色	Albino	規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT
由来	非 Inbred の Swiss mice を起源とし、1959 年に Charles River Laboratories, Inc. (米国) に導入され、帝王切開で作出後、SPF 化された。さらに IGS プログラム化後、2012 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ再導入された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。		

Inbred (近交系) マウス

B6N-*Tyr^{c-Brd}* /BrdCrCrl

一般名：B6 Albino

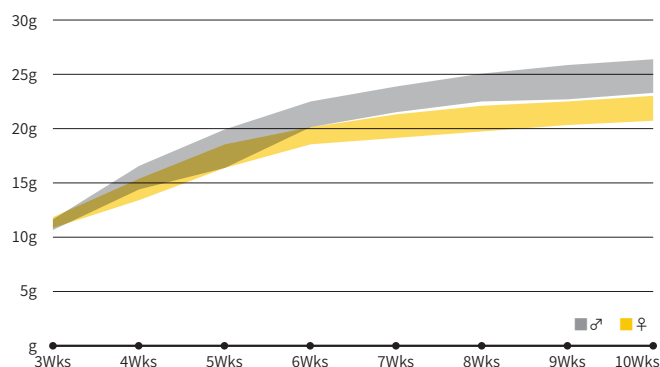
IGS 適用系統



毛色	Albino	H2	b	規格	4 週齢～
由来	2000 年に Baylor 医科大学の Allan Bradley 博士から NCI に導入された。B6 アルビノ系統は C57BL/6 系統からの自然発症コアイソジェニックのアルビノで、本系統はチロシナーゼ遺伝子に変異をもつ。 2009 年に NCI から Charles River Laboratories Inc. (米国) へ導入され、IGS プログラム化後 2013 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。				

BALB/cAnNCrCrlj

一般名：BALB/c

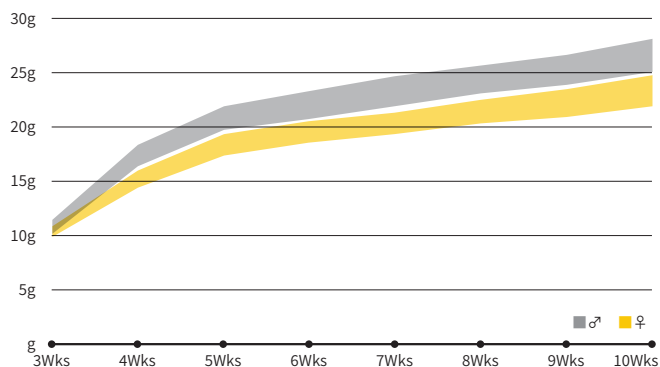


毛色	Albino	H2	d	規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT
由来	1932 年に F26 で Macdowell より Snell へ導入、1935 年 Andervont へ導入され、1951 年に F72 で NIH へ導入された。その後 Battle Memorial Inst. を経て、1974 年に F122 で Charles River Laboratories, Inc (米国) に導入後、1976 年に F144 で日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。				

C3H/HeNCrl

一般名：C3H

IGS 適用系統

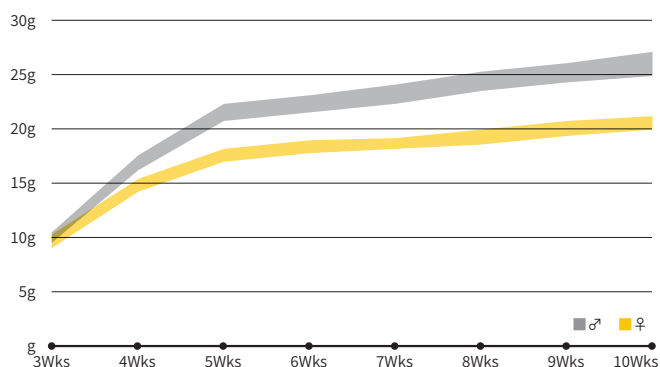


毛色	Agouti	H2	k
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	1920 年に Strong 氏により Bagg albino 雌と DBA 雄の交配から作出された。1930 年に Andervont に、その後 F35 で Heston へ導出され、1951 年に F57 で NIH へ導入された。1974 年に F102 で Charles River Laboratories, Inc. (米国) に導入され、IGS プログラム化後、2012 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ再導入された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。		

C57BL/6NCrl

一般名：B6N

IGS 適用系統



毛色	Black	H2	b
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T, PREG、LACT		
由来	1921 年に C.C. Little によって Miss Abby Lathrop の維持コロニーから見出された。(本コロニーからは C57BR や C57L も作出されている。) 1937 年頃に 6 ラインと 10 ラインは別々に管理されるようになった。1948 年に Hall から The Jackson Laboratory に導入され、1951 年には F32 で NIH に導入された。1974 年 NIH より Charles River Laboratories, Inc. (米国) に導入され、IGS プログラム化後、2012 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ再導入された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。		

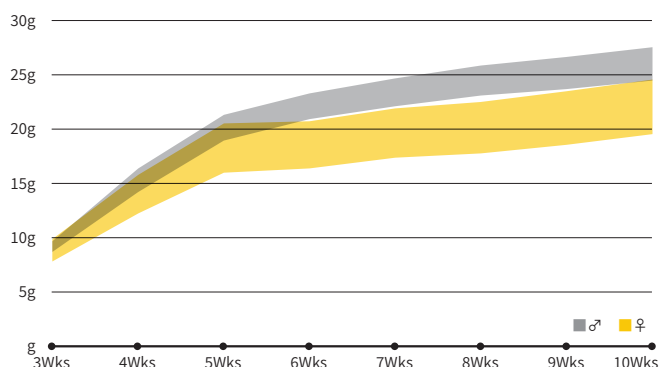
C57BL/6J

一般名：B6J

JAX®Mice | GSP 適用系統 | (JAX® Mice stock number: 000664)



The Jackson Laboratory Genetic Stability Program is covered under U.S. Patent numbers 7592501 and 8110721; a license from JAX is required to practice under this patent.



毛色	Black	H2	b
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T, PREG、LACT		
由来	ジャクソン研究所 (米国) から 2002 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入した。本系統は “Genetic Stability Program” にて維持されている。		

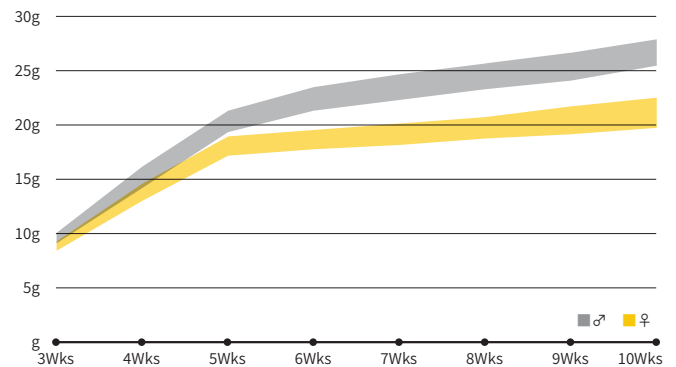
CBA/J

一般名：CBA

JAX®Mice | GSP 適用系統 | (JAX® Mice stock number:000656)



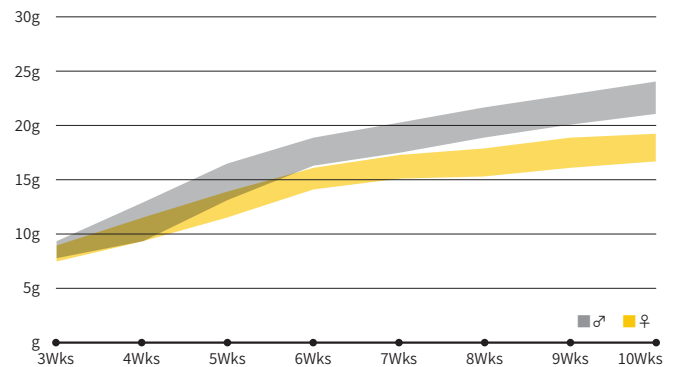
The Jackson Laboratory Genetic Stability Program is covered under U.S. Patent numbers 7592501 and 8110721; a license from JAX is required to practice under this patent.



毛色	Agouti	H2	k
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	ジャクソン研究所 (米国) から 2010 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入した。本系統は“Genetic Stability Program”にて維持されている。		

DBA/1JNCrlj

一般名：DBA/1

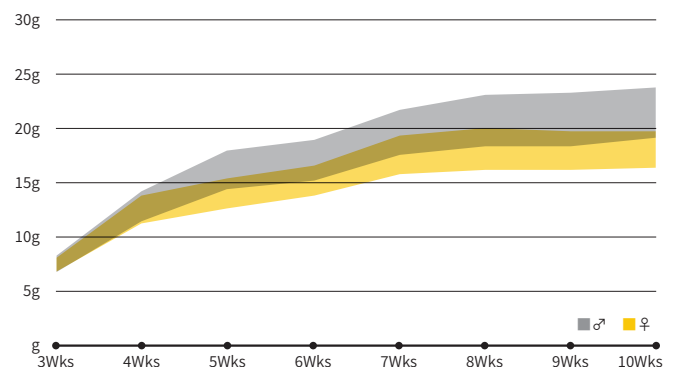


毛色	Dilute brown	H2	q
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	1965 年に The Jackson Laboratory より Hoffman へ導入され、1967 年に NIH へ導入された。1988 年に Charles River Laboratories, Inc. (米国) へ導入し SPF 化後、同年 F56 で日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) に導入された。		

DBA/2NCrl

一般名：DBA/2

IGS 適用系統

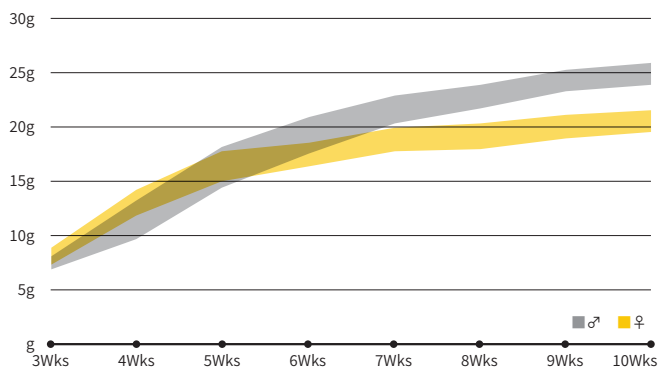


毛色	Dilute brown	H2	d
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	1938 年に The Jackson Laboratory より Mider へ導入され、1951 年に F34 で NIH へ導入された。その後、Kansas Univ. を経て、1963 年に F78 で Texas Inbred へ導入された。1966 年に F84 で Charles River Laboratories, Inc. (米国) へ導入され、IGS プログラム化後、2013 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ再導入された。本系統は IGS プログラムにて維持されている。		

NC/NgaTndCrlj

一般名：NC

NC:Nishiki Cinnamon

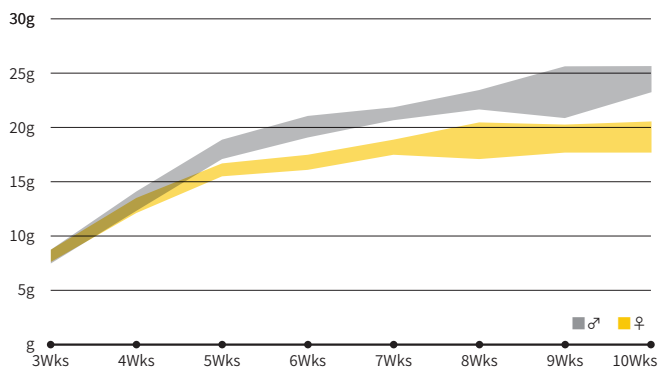


毛色	Cinnamon
規格	4 週齢～ このマウスは、ご購入前に繁殖やその子孫の分与をしない旨の誓約書のご提出が必要です。
由来	このダニ抗原等の感作により発症するアトピー性皮膚炎モデルマウスは、1957 年に名古屋大学（農）の近藤教授により確立され、1997 年に東京農工大学農学部より日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。

SJL/J

一般名：SJL

JAX®Mice | (JAX® Mice stock number:000686)



毛色	Albino	H2	s2
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG（♂はファイティングを起こす傾向が強いため、個別飼育を推奨します。）		
由来	ジャクソン研究所（米国）から 2010 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。		

C57BL/6J-Aged

一般名：B6J Aged

JAX®Mice | GSP 適用系統 | (JAX® Mice stock number:000664)



The Jackson Laboratory Genetic Stability Program is covered under U.S. Patent numbers 7592501 and 8110721; a license from JAX is required to practice under this patent.

Preconditioning モデル

高月齢・老齢モデルマウス



毛色	Black
規格	26 ～ 92 週齢（93 週以上をご希望の場合はご相談ください）。加齢性の外観異常（脱毛、体・尾・耳の傷、目の異常等）を伴う動物も出荷対象としています。39 週齢以下の♀はファイティングを起こす傾向が強いため、納品輸送箱内にエンリッチメントを入れております。
由来	2002 年、ジャクソン研究所（米国）から導入し、生産供給している JAX®Mice Strain C57BL/6J マウスを予め加齢させた動物である。4 週齢の時点で出荷体重基準をクリアした C57BL/6J を加齢させている。予め加齢していることで、加齢研究のご希望に合わせて短い納期でご利用いただける。

C57BL/6J-DIO

一般名：B6J DIO

JAX®Mice | GSP 適用系統 | DIO:Diet Induced Obesity (JAX® Mice stock number:000664)



The Jackson Laboratory Genetic Stability Program is covered under U.S. Patent numbers 7592501 and 8110721; a license from JAX is required to practice under this patent.

Preconditioning モデル

高脂肪食負荷肥満モデルマウス



毛色	Black
規格	6 週齢～（4 週齢から高脂肪食給餌） 高脂肪食を給餌しているため、外観や皮毛等に多少の光沢等が観察される。
由来	2002 年、ジャクソン研究所（米国）から導入し、生産供給している JAX®Mice Strain C57BL/6J マウスに、Research Diets 社製の飼料 D12492（60Kcal %fat）を 4 週齢から一定期間給餌した動物である（飼料 D12451 をご希望の場合はご相談ください）。

C57BL/6J-NASH

一般名：B6J NASH

JAX®Mice | GSP 適用系統 | NASH:Non-alcoholic steatohepatitis (JAX® Mice stock number:000664)



The Jackson Laboratory Genetic Stability Program is covered under U.S. Patent numbers 7592501 and 8110721; a license from JAX is required to practice under this patent.

Preconditioning モデル

食餌誘導性 NASH モデルマウス

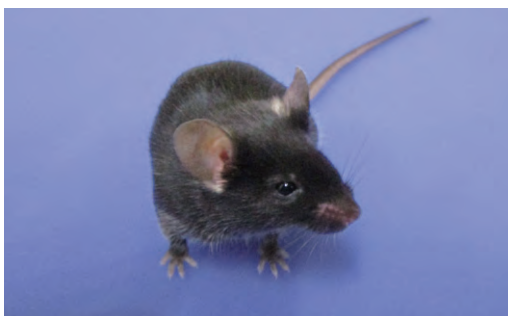


毛色	Black
規格	7 週齢～（6 週齢から NASH 作製用飼料給餌） 高脂肪食を給餌しているため、外観や皮毛等に多少の光沢等が観察される。
由来	2002 年、ジャクソン研究所（米国）から導入し、生産供給している JAX® Mice Strain C57BL/6J マウスに、Research Diets 社製の NASH 作製用飼料 A06071302（60Kcal % fat）を 6 週齢から一定期間給餌した動物である（A06071309（45Kcal%fat 飼料）、D09100310(N) をご希望の場合にはご相談ください）。

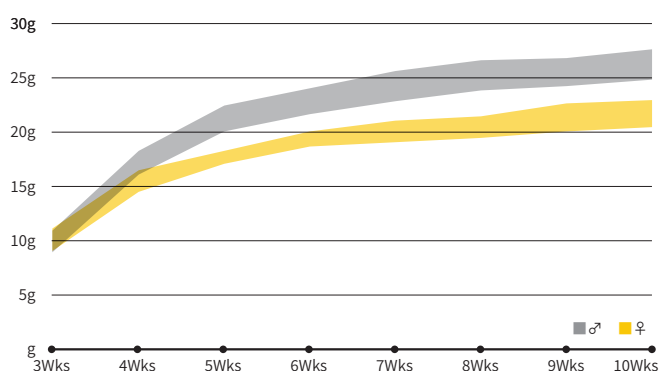
F1 Hybrid マウス

B6D2F1/Crl

(C57BL/6NCrl ♀ × DBA/2NCrl ♂)



一般名：B6D2F1



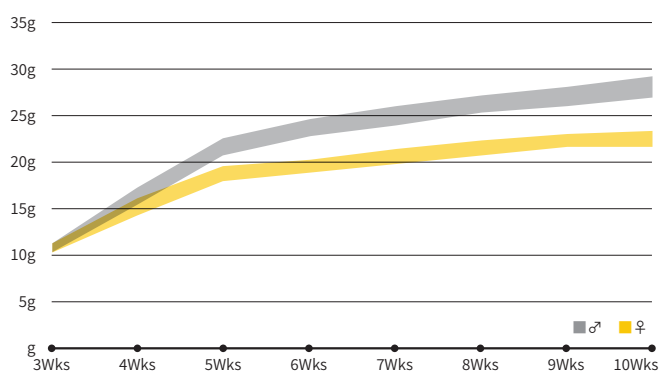
毛色	Black	H2	b/d	規格	3週齢～、LACT
----	-------	----	-----	----	-----------

CD2F1/Crlj

(BALB/cAnNCrlCrlj ♀ × DBA/2NCrlCrlj ♂)



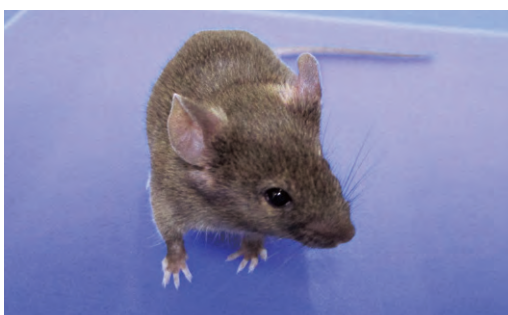
一般名：CD2F1



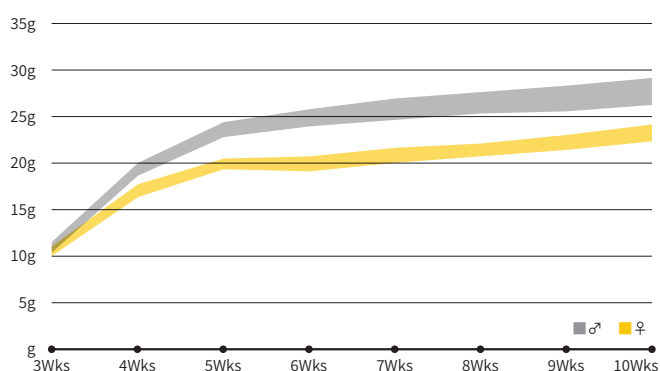
毛色	Cinnamon	H2	d/d	規格	3週齢～、LACT
----	----------	----	-----	----	-----------

B6C3F1/Crl

(C57BL/6NCrl ♀ × C3H/HeNCrl ♂)



一般名：B6C3F1

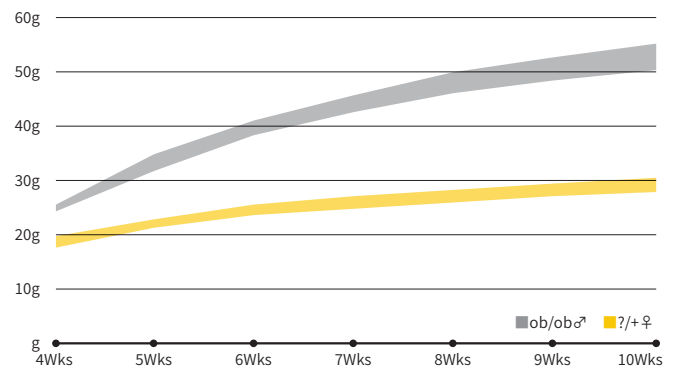


毛色	Agouti	H2	b/k	規格	3週齢～、LACT
----	--------	----	-----	----	-----------

B6.Cg-*Lep^{ob}* /J

JAX®Mice | (JAX® Mice stock number:000632)

一般名: ob

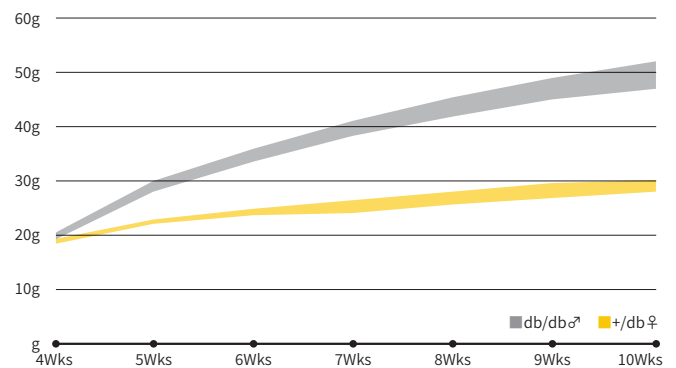


毛色	Black, fat 遺伝子型 (<i>Lep^{ob}</i> / <i>Lep^{ob}</i>) Black, lean 遺伝子型 (? / +)	H2	b
規格	5 週齢～ 温度変化や輸送ストレスに対する抵抗力が弱く、動物が衰弱し、斃死する場合がある。		
由来	ジャクソン研究所 (米国) から 2003 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入した。		

BKS.Cg-*Dock7^m* +/+ *Lepr^{db}* /J

JAX®Mice | (JAX® Mice stock number:000642)

一般名: db



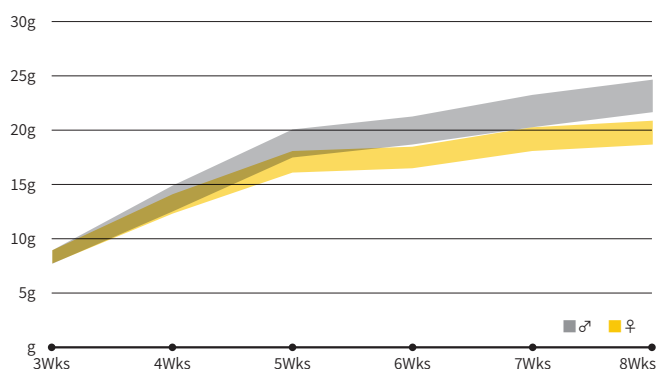
毛色	Black, fat 遺伝子型 (+ <i>Lepr^{db}</i> / + <i>Lepr^{db}</i>) Black, lean 遺伝子型 (<i>Dock7^m</i> +/+ <i>Lepr^{db}</i>) Misty (grey), lean 遺伝子型 (<i>Dock7^m</i> +/ <i>Dock7^m</i> +)	H2	d
規格	5 週齢～ 温度変化や輸送ストレスに対する抵抗力が弱く、動物が衰弱し、斃死する場合がある。		
由来	ジャクソン研究所 (米国) から 2003 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入した。		

Immunodeficient Models (免疫不全モデル) マウス

CAnN.Cg-*Foxn1*^{nu} /CrlCrlj

一般名：BALB/c-nu

免疫不全動物

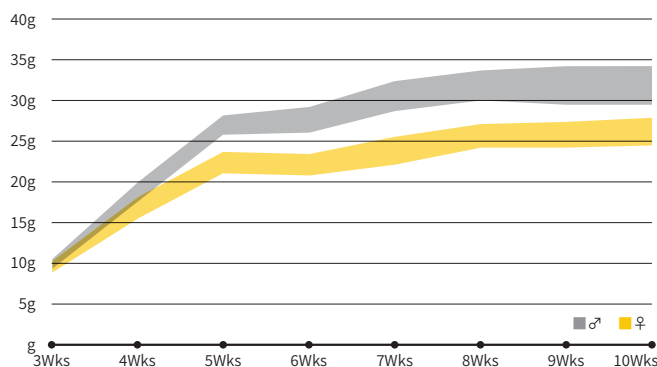


特徴	ホモ個体 (nu/nu) では胸腺が欠損し、T 細胞を産生できないために免疫不全を呈する。	H2	d
規格	♂ 4～5 週齢 ♀ 4～7 週齢		
由来	1981 年に Charles River Laboratories, Inc. (米国) へ導入された BALB/cABomCr-nu/nu の nu 遺伝子を BALB/cAnNCrJ に導入し作出したマウスに由来し、1987 年に Charles River Laboratories, Inc. (米国) より日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。		

Crlj:CD1-*Foxn1*^{nu}

一般名：ICR-nu

免疫不全動物

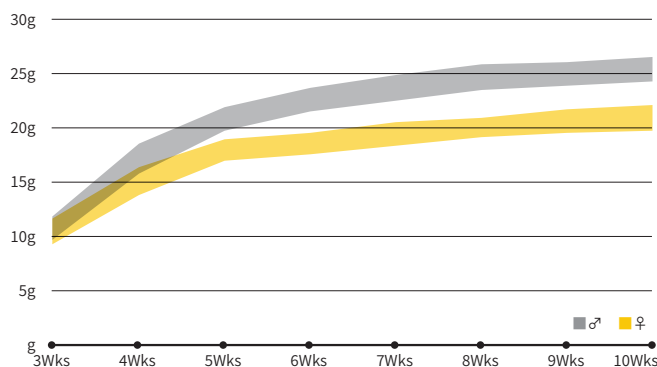


特徴	ホモ個体 (nu/nu) では胸腺が欠損し、T 細胞を産生できないために免疫不全を呈する。 Outbred 系統のため、大きく丈夫 (BALB/c-nu との比較)。
規格	♂ 4～5 週齢 ♀ 4～7 週齢
由来	Charles River Laboratories, Inc (米国) が CD-1 に Crl:NU- <i>Foxn1</i> ^{nu} 由来の nu 遺伝子を導入し作出したマウスに由来し、1981 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。

CB17/lcr-*Prkdc*^{scid} /CrlCrlj

一般名：C.B-17 SCID

免疫不全動物

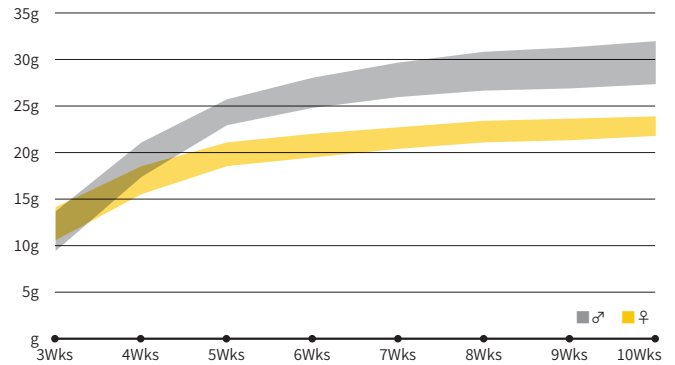


毛色	Albino	H2	d
特徴	<i>Prkdc</i> ^{scid} 突然変異遺伝子により末梢血中の B 細胞および T 細胞が機能不全。 血清中に免疫グロブリンはほとんど見出されない (一部 Leaky マウスの出現がある)。		
規格	4～8 週齢 このマウスは、Fox Chase Cancer Center との契約によりご購入前に繁殖やその子孫の分与をしない旨の誓約書のご提出が必要です。		
由来	常染色体劣性突然変異である、 <i>Prkdc</i> 遺伝子の scid 変異を持つ。1980 年に Fox Chase Cancer Center にて Dr. Bosma らにより C.B-17/lcr より発見された。1991 年に IFFA CREDO より Charles River Laboratories, Inc. (米国) へ導入され、1992 年に日本チャールス・リバー (現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン) へ導入された。		

Crlj:SHO-*Prkdc*^{scid}*Hr*^{hr}

一般名：SHO

免疫不全動物

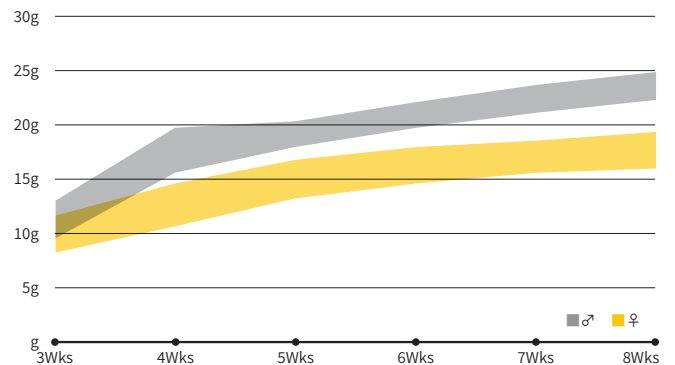


毛色	<i>Prkdc</i> ^{scid} 突然変異遺伝子により末梢血中の B 細胞および T 細胞が機能不全。Hairless のため、腫瘍細胞の移植が容易（担がんモデル作製が容易）。	規格	♂ 4～5 週齢 ♀ 4～8 週齢
由来	常染色体劣性突然変異である、 <i>Prkdc</i> 遺伝子の <i>scid</i> 変異を持つ。2007 年に Crl: HA (ICR) - <i>Prkdc</i> ^{scid} と Crl: SKH1- <i>Hr</i> ^{hr} の交配により Charles River Laboratories, Inc. (米国) で作出された。2010 年に Charles River Laboratories, Inc. (米国) より日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入された。		

CB17.Cg-*Prkdc*^{scid}*Lyst*^{bg-J}/CrlCrlj

一般名：SCID Beige

免疫不全動物



毛色	Albino	H2	d	規格	4 週齢～
特徴	SCID 遺伝子の突然変異により末梢血中の B 細胞および T 細胞が機能不全。Beige 変異遺伝子の突然変異により NK 細胞（ナチュラルキラー細胞）が機能不全。				
由来	常染色体劣性突然変異である、 <i>scid</i> (<i>Prkdc</i> 遺伝子の <i>scid</i> 変異) と <i>beige</i> (<i>Lyst</i> 遺伝子の <i>beige</i> 変異) の両遺伝子変異を持つコンジェニックマウスである。 <i>scid</i> 変異体は、B、T 両リンパ球に影響を与える重度重複免疫不全を発症する。 <i>beige</i> 変異体は、NK 細胞不全を発症する。このマウスは Guelph 大学の Croy らにより、C57BL/6 bg/bg マウスと C.B-17 <i>scid/scid</i> マウスを戻し交配することで、開発された。1993 年に Charles River Laboratories, Inc. (米国) に導入され、2013 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）に導入された。				

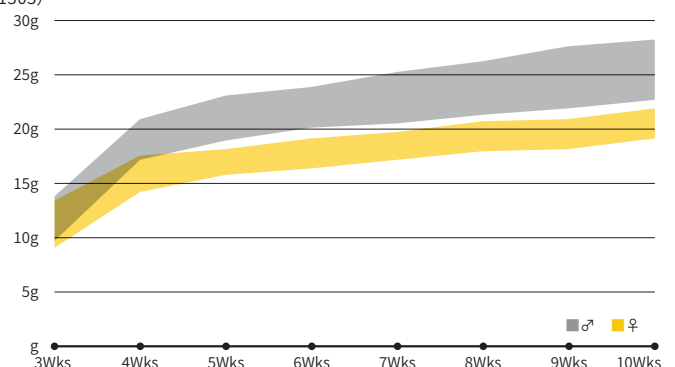
NOD.CB17-*Prkdc*^{scid}/J

一般名：NOD SCID

免疫不全動物 | JAX®Mice | GSP 適用系統 | (JAX® Mice stock number:001303)



The Jackson Laboratory Genetic Stability Program is covered under U.S. Patent numbers 7592501 and 8110721; a license from JAX is required to practice under this patent.



毛色	Albino	H2	g7	規格	4～6 週齢
特徴	末梢血中の機能的な T 細胞および B 細胞が欠失し、補体活性もなく NK 細胞活性も低いため、重度な複合免疫不全症を呈する。胸腺腫を発症する傾向があり、寿命は約 8.5 カ月。				
由来	ジャクソン研究所 (米国) から 2006 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入し、供給を開始した。本系統は “Genetic Stability Program” にて維持されている。				

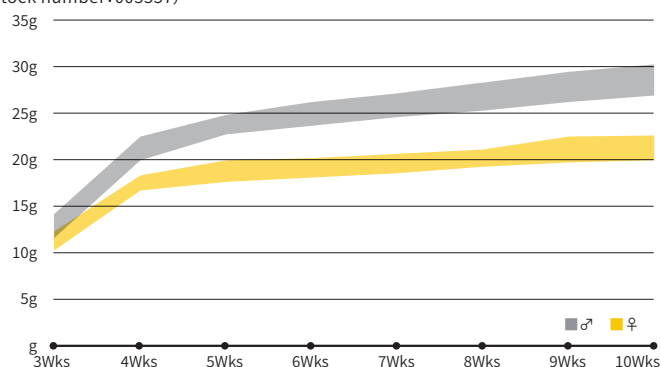
NOD.Cg-Prkdc^{scid}Il2rg^{tm1Wjl}/SzJ

一般名：NSG

免疫不全動物 / 遺伝子改変動物 | JAX®Mice | GSP 適用系統 | (JAX® Mice stock number:005557)



The Jackson Laboratory Genetic Stability Program is covered under U.S. Patent numbers 7592501 and 8110721; a license from JAX is required to practice under this patent.



毛色	Albino	H2	H2	g7	g7	規格	4 ~ 6 週齢
特徴	末梢血中の機能的な T 細胞および B 細胞が欠失し、補体活性もなく、IL-2 受容体 γ 鎖欠損、サイトカインシグナル伝達系欠損、広汎な免疫不全を呈する。 胸腺腫を発症しないため、NOD SCID マウスよりも長寿命。						
由来	ジャクソン研究所（米国）から 2012 年に日本チャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）へ導入した。本系統は“Genetic Stability Program”にて維持されている。						
注意	動物の搬入には、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（カルタヘナ法）」に基づいた手続きが必要。本系統の使用には、ジャクソン研究所（米国）とのライセンス契約もしくは MTA（Material Transfer Agreement）の締結が必要。企業および営利目的の使用の場合にはライセンス契約の締結が、非営利目的の研究の場合には MTA が必要。						

Immunodeficient Models (免疫不全モデル) マウス一覧

Strain	Nomenclature	Genetics	Back ground	Hair	T-Cells	B-Cells	NK-Cells	Comple ment	Page
BALB/c-nu	CAnN.Cg-Foxn1 ^{nu} /CrIcrlj	Inbred	BALB/c	—	—	+	+	+	18
		Spontaneous Mutant*							
ICR-nu	CrIj:CD1-Foxn1 ^{nu}	Outbred	ICR	—	—	+	+	+	18
		Spontaneous Mutant*							
C.B-17 SCID	CB17/Icr-Prkdc ^{scid} /CrIcrlj	Inbred	CB17	+	—	—	+	+	18
		Spontaneous Mutant*							
SHO	CrIj:SHO-Prkdc ^{scid} Hr ^{hr}	Outbred	Mixed Stock	—	—	—	+	+	19
		Spontaneous Mutant*							
SCID Beige	CB17.Cg-Prkdc ^{scid} Lyst ^{bg-J} /CrIcrlj	Inbred	CB17	+	—	—	Impaired	+	19
		Spontaneous Mutant*							
NOD SCID	NOD.CB17-Prkdc ^{scid} /J	Inbred	NOD	+	—	—	Impaired	—	19
		Spontaneous Mutant*							
NSG	NOD.Cg-Prkdc ^{scid} Il2rg ^{tm1Wjl} /SzJ	Inbred	NOD	+	—	—	—	—	20
		Genetically Modified**							

Spontaneous Mutant*：自然発生突然変異 Genetically Modified**：遺伝子改変

その他商材

手術・処置動物

安全性試験、薬物動態試験向けのカニュレーション動物作製

Jugular Vein Cannulation

頸静脈カニュレーション

右総頸静脈からカテーテルを挿入し、採血用として使用。採血期間は 7 ～ 20 日間程度の採血が可能。

※カテーテルの設計、試験条件等により採血期間が左右されます。

Portal Vein Cannulation

門脈カニュレーション

門脈に対し垂直にカテーテルを挿入し、固定。腸管吸収・肝臓への投与経路として使用され、採血期間は、20 日間程度の採血が可能。

Bile Duct Cannulation

胆管カニュレーション

肝臓側の胆管に挿入したカテーテルを体外に露出し、胆汁排泄をせず、カテーテル先端を十二指腸側の胆管に戻す胆管バイパス手術を実施。無麻酔下での胆汁排泄試験、十二指腸への胆汁・薬剤投与が可能。

Femoral Vein and Artery Cannulation

大腿静脈・動脈カニュレーション

股部切開により大腿動静脈を露出し、カテーテルを挿入。カテーテル先端は腎動静脈付近に位置させ縫合固定。静脈は薬剤の投与経路（反復投与試験等）、動脈は採血および観血式血圧測定等に使用。

※試験用途、試験期間により採血期間が左右されます。

Double Cannulation

ダブルカニュレーション

- 頸静脈 + 門脈カニュレーション
- 頸静脈 + 胆管カニュレーション
- 頸静脈 + 大腿静脈カニュレーション
- 側脳室 + 大腿静脈カニュレーション
- 胆管 + 大腿静脈カニュレーション、他

その他 特殊投与用等のカニュレーション動物作製

Lateral /3rd Ventricular Cannulation

側脳室・第三脳室カニュレーション

脳定位固定装置に動物を固定し、頭蓋骨の Bregma を基点に、座標に従いガイドの挿入位置を決定。アンカービス、歯科用セメント等にてガイドを固定。中枢への薬物投与、Micro dialysis 法にも使用が可能。

Intrathecal Cannulation

髄腔内カニュレーション

脳定位固定装置に固定し、後頭骨と第一頸椎間より髄膜を穿孔し、カテーテルを髄腔内へ挿入し、留置固定。

Gastric /Duodenum Cannulation

胃・十二指腸カニュレーション

腹部切開後、胃（噴門部・幽門部）にカテーテル挿管部を切開し、巾着縫合によりカテーテルを挿管固定。

Colon Cannulation

大腸カニュレーション

腹部切開後、盲腸結腸側にカテーテル挿管部を切開し、巾着縫合によりカテーテルを挿管固定。

Bladder Cannulation

膀胱カニュレーション

膀胱にカテーテルを挿入し、巾着縫合によりカテーテルを固定。膀胱内圧試験に使用。

その他 外科的疾患モデルの動物作製

下垂体摘出・甲状腺副甲状腺摘出・副腎摘出・5/6 腎臓摘出・卵巣摘出・精巣摘出・精管切除・半月板摘出

生体試料採取（血液・臓器等）

血液試料

血漿・血清・全血・IC 血清

ご希望の部位からの採血が可能です。
静脈、動脈、心臓

抗凝固剤

ご希望の抗凝固剤をご指定いただけます。
ヘパリン Na、ヘパリン Li、EDTA-2Na、EDTA-2K、
3.8% クエン酸ナトリウム 等

臓器・組織

脳、肝臓、腎臓、眼球、皮膚、 体毛、尿、糞、骨格、筋肉、 脳脊髄液 等

ご希望の臓器・組織の試料採材が可能です。

試料採取後の処置

ご希望の処置等 ご相談承ります。
灌流、ホモジナイズ 等

ブタ皮膚（Yucatan Micro Pig Skin set） ユカタン マイクロピッグ スキンセット

米国シンクレア社（Sinclair Bio Resources, LCC）より Yucatan Micro Pig Skin set を輸入し販売しております。
Yucatan Micro Pig はヒト皮膚組織構造に近く体毛が少ないことから、医薬品の製剤研究や化学品の皮膚科学研究等に
広く使用されています。

摘出皮膚・仕様

品 名	Yucatan Micro Pig Skin Set
品 質	家畜法定伝染病の疾患の無い健康な個体から採取する
規 格	雌性5ヶ月齢
サ イ ズ	1枚 約10cm×10cm (採取時)
内 容	表皮・真皮・皮下脂肪
数 量	1頭 (16枚) もしくは1/2頭 (8枚 右または左半身)
保 存	-80℃ ドライアイス包装および冷凍庫

系統別出荷体重基準表

ラット

(単位：g)

系統名	性別	3 週齢	4 週齢	5 週齢	6 週齢	7 週齢	8 週齢	9 週齢	10 週齢
Crl:CD(SD) (CD(SD)) (Outbred Rats)	オス	35-55	50-110	100-160	140-220	190-270	240-330	270-360	310-390
	メス	35-55	50-110	80-130	120-190	140-210	160-230	180-240	200-260
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
Crlj:WI (Wistar) (Outbred Rats)	オス	35-55	60-100	100-160	150-220	200-280	250-340	290-380	310-410
	メス	35-55	60-100	90-140	130-180	155-205	170-240	180-250	200-270
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
F344/DuCrlCrlj (F344) (Inbred Rats)	オス	25-45	35-75	65-110	95-140	125-175	150-210	180-240	195-255
	メス	20-40	35-70	60-100	80-120	95-135	110-150	115-155	120-170
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
LEW/CrlCrlj (LEW) (Inbred Rats)	オス	30-50	50-90	90-140	130-180	160-220	190-260	200-290	210-310
	メス	30-50	50-80	80-120	110-150	130-160	140-180	150-190	160-210
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
BN/CrlCrlj (BN) (Inbred Rats)	オス	30-55	45-80	70-110	95-140	125-175	155-205	180-240	200-270
	メス	25-50	40-70	65-95	85-115	100-140	115-160	125-170	130-180
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
注 1) WKY/NCrlCrlj (WKY) (Inbred Rats)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 1) PCK/CrljCrl- <i>Pkhd1^{pck}</i> /CrlCrlj (PCK) (Inbred Rats)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—

注 1)：これらの系統では、体重のご指定を承ることができません。また、ラベルへの体重表示も控えさせていただいております。

マウス

(単位：g)

系統名		性別	3 週齢	4 週齢	5 週齢	6 週齢	7 週齢	8 週齢	9 週齢	10 週齢
Crl:CD1(ICR) (ICR) (Outbred Mice)	オス		8-15	15-25	23-33	25-37	26-39	28-41	—	—
	出荷体重幅 (オス)		4	4	5	6	7	8	—	—
	メス		7-14	14-23	19-28	20-29	21-32	23-34	—	—
	出荷体重幅 (メス)		4	4	5	5	5	6	—	—
C57BL/6NCrl (B6N) (Inbred Mice)	オス		9-14	14-19	17-22	18-23	19-24	20-25	—	—
	メス		7-12	12-17	15-20	16-21	17-22	18-23	—	—
	出荷体重幅		—	—	—	—	—	—	—	—
注 1) B6N-Tyrc ^{-Brd} /BrdCrCrl (B6 Albino) (Inbred Mice)	オス		—	—	—	—	—	—	—	—
	メス		—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅		—	—	—	—	—	—	—	—
BALB/cAnNCrCrlj (BALB/c) (Inbred Mice)	オス		9-14	13-18	17-22	19-24	21-26	22-27	—	—
	メス		9-14	12-17	15-20	16-21	17-22	18-23	—	—
	出荷体重幅		—	—	—	—	—	—	—	—
C3H/HeNCrl (C3H) (Inbred Mice)	オス		8-13	13-18	17-22	18-23	19-24	20-25	—	—
	メス		8-13	12-17	15-20	16-21	17-22	18-23	—	—
	出荷体重幅		—	—	—	—	—	—	—	—
DBA/1JNCrlj (DBA/1) (Inbred Mice)	オス		7-12	9-14	12-17	15-20	16-21	18-23	—	—
	メス		6-11	8-13	10-15	12-17	13-18	14-19	—	—
	出荷体重幅		—	—	—	—	—	—	—	—
DBA/2NCrl (DBA/2) (Inbred Mice)	オス		7-12	10-15	14-19	15-20	17-22	18-23	—	—
	メス		7-12	10-15	12-17	13-18	14-19	15-20	—	—
	出荷体重幅		—	—	—	—	—	—	—	—
注 1) NC/NgaTndCrlj (NC) (Inbred Mice)	オス		—	—	—	—	—	—	—	—
	メス		—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅		—	—	—	—	—	—	—	—
B6D2F1/Crl (BDF1) (Hybrid Mice)	オス		8-13	14-19	19-24	20-25	22-27	23-28	—	—
	メス		8-13	13-18	15-20	16-21	17-22	18-23	—	—
	出荷体重幅		—	—	—	—	—	—	—	—
CD2F1/Crlj (CD2F1) (Hybrid Mice)	オス		9-14	15-20	19-24	21-26	22-27	23-28	—	—
	メス		9-14	13-18	16-21	17-22	18-23	19-24	—	—
	出荷体重幅		—	—	—	—	—	—	—	—
B6C3F1/Crl (B6C3F1) (Hybrid Mice)	オス		9-15	14-21	17-25	19-26	20-27	22-29	—	—
	メス		9-15	13-20	15-22	16-23	17-24	18-25	—	—
	出荷体重幅		—	—	—	—	—	—	—	—

注 1)：これらの系統では、体重のご指定を承ることができかねます。また、ラベルへの体重表示も控えさせていただいております。

マウス

(単位：g)

	系統名	性別	3 週齢	4 週齢	5 週齢	6 週齢	7 週齢	8 週齢	9 週齢	10 週齢
	CAnN.Cg-Foxn1 ^{nu} /CrIcrlj (BALB/c-nu) (Immunodeficient Models Mice)	オス	7-14	11-18	15-22	16-23	18-25	18-25	—	—
		メス	7-14	9-17	11-19	14-22	15-23	16-24	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
	Crlj:CD1-Foxn1 ^{nu} (ICR-nu) (Immunodeficient Models Mice)	オス	7-12	18-25	22-30	24-31	24-33	24-35	—	—
		メス	7-12	14-22	18-25	20-26	20-28	20-30	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 1)	CB17/lcr-Prkdc ^{scid} /CrIcrlj (C.B-17 SCID) (Immunodeficient Models Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 1)	CB17.Cg-Prkdc ^{scid} Lyst ^{bg-J} /CrIcrlj (SCID Beige) (Immunodeficient Models Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 1)	Crlj:SHO-Prkdc ^{scid} Hr ^{hr} (SHO) (Immunodeficient Models Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 2)	C57BL/6J (B6J) (Inbred Mice)	オス	7-14	11-18	16-23	18-25	20-27	21-28	—	—
		メス	7-14	10-17	13-20	14-21	15-22	16-23	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 2)	CBA/J (CBA/J) (Inbred Mice)	オス	9-14	14-19	19-24	21-26	22-27	24-29	—	—
		メス	9-14	14-19	16-21	17-22	18-23	19-24	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 2)	SJL/J (SJL) (Inbred Mice)	オス	6-13	11-18	15-22	16-23	17-24	18-25	—	—
		メス	5-12	10-17	13-20	14-21	15-22	15-22	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 1) 注 2)	NOD.CB17-Prkdc ^{scid} /J (NOD SCID) (Immunodeficient Models Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 1) 注 2)	NOD.Cg-Prkdc ^{scid} Il2rg ^{tm1Wjl} /SzJ (NSG) (Immunodeficient Models Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 1) 注 2)	B6.Cg-Lep ^{ob} /J (ob) (Inbred Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 1) 注 2)	BKS.Cg-Dock7 ^{m/+} /+Lepr ^{db} /J (db) (Inbred Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 1) 注 2)	C57BL/6J-DIO (B6J DIO) (Preconditional Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注 1) 注 2)	C57BL/6J-NASH (B6J-NASH) (Preconditional Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—

注 1)：これらの系統では、体重のご指定を承ることができません。また、ラベルへの体重表示も控えさせていただきます。

注 2)：ジャクソン研究所（米国）のマウスになります。

製品／サービスのご利用にあたって

弊社の製品 / サービスのご使用にあたっては The Jackson Laboratory および Charles River Laboratories, Inc. (米国) の取引条件が適用されます。

各販売条件は以下の URL より
WEB サイトでご確認ください

The Jackson Laboratory

一般条件 (GENERAL TERMS AND CONDITIONS) :

<https://www.jax.org/about-us/legal-information/terms-and-conditions-of-product-use>

Charles River Laboratories, Inc. (米国)

一般販売条件 (General Terms & Conditions of Sale) :

<https://www.criver.com/general-terms-conditions-sale>

販売代理店

オリエンタル酵母工業株式会社
東日本バイオ営業部

お問合せ

TEL : 03-3968-1163
FAX : 03-3968-1196
E-mail : oyc-tbo@nisshin.com

ご注文

TEL : 043-301-2201
FAX : 043-244-6234
E-mail : oyc-tbo@nisshin.com

オリエンタル酵母工業株式会社
西日本バイオ営業部

お問合せ

TEL : 06-6338-1095
FAX : 06-6384-7692
E-mail : bioosaka@nisshin.com

ご注文

TEL : 043-301-2201
FAX : 043-244-6234
E-mail : oyc-tbo@nisshin.com

株式会社オリエンタルバイオサービス

お問合せ

TEL : 075-322-1177
FAX : 075-322-0232
E-mail : obskyoto@nisshin.com

株式会社ケービーティーオリエンタル

お問合せ

TEL : 0942-81-2400
FAX : 0942-81-2401
E-mail : kbto-01@nisshin.com

WELCOME TO JAX MOUSE SEARCH

<https://mice.jax.org/>



実験動物マウスが必要な時に、まずはアクセスしてください。
日々増えていく研究用のマウスを、マウスの系統、特性、特徴での絞り込みや
そのマウスを用いた研究者から提供された情報も確認いただけ
ご自身のご研究に最適な系統を見つけることができます。

メールニュースのご案内

JAX IN JAPAN NEWS AND INSIGHTS



ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンの
最新情報をお届けするメールニュースは
こちらからご登録いただけます。

